2002.10.22 日本農業新聞「伝言板」

おいしいメロン栽培に最適

「コフナ」で雪の下の土づくり

コフナ農法普及協議会

北海道富良野市山部町
長沢 清一さん

「ゆうパック」による直売で、多くのファンを抱えるメロン生産者の長沢さんは、メロンを栽培して三十年のベテラン。現在の栽培品種はキングルビー（赤肉）。

過去に開花期に樹がしおれ、そのあと、果実までしおれる症状に見まわれた。当時、普及センターからは「土壌消毒」や「土の入れ替え」をすすめられたが、農業資材販売の㈱丹波屋さんからほ場への有益微生物の投入を目的にコフナを紹介され、秋口にハウス1棟（150坪）当りにコフナ1号10kgすき込んだ。

秀品「キングルビー」メロン生産に自信を深めている北海道の長沢さん

生物が、活動するか非常に心配された。しかし、コフナの散布が遅れても10月であればハウス内をトレンチャーで2列ほど深耕し散布すると、たい肥も春にロータリーで耕運した時にはすっかり分解されて無くなっている。モミガラでも7～8カ月で分解されている。

また春にハウスを建て直す予定のほ場にコフナMPを10kg/当たり6袋散布後、キャタピラーで鎮圧をして根雪状態にしたところ、春にはほ場の表層に微生物がビッシリ繁殖していた。

冬の間に微生物を活用し土づくりを進めることで土壌病害の回避ができた上にほ場も肥よくになった。雪に当てるだけでも土にとっては良いのだが、折角のこの期間コフナを土づくりのために使って成果をあげよう。

■お問い合わせは、コフナ農法普及協議会事務局 ニチモウ株式会社内 〒140－0002 東京都品川区東品川二ノ二ノ二〇ノ二、☎03（3458）4369、ファクス03（3458）4329。
http＝//www.nichimo.co.jp
e－mail＝cofuna@nichimo.co.